***――　環境構築マニュアル　――***

作成者　岩田

1. 環境.docxに書かれているものを用意(CentOS, Nodeモジュール以外はyumでインストール可能)。
2. オフライン環境に構築する場合はEPEL7のrpmパッケージにて検索してダウンロード後、CentOS上にディレクトリを作成し、そのディレクトリにダウンロードしたパッケージ一式を入れてcreaterepoコマンドでリポジトリを作成する（リポジトリの設定などはネット上に情報があるので参照すること）。
3. 『yum –disablerepo=\* --enablerepo=設定したリポジトリ名 install rpmファイル名』コマンドでrpmパッケージのダウンロードを行う。パッケージには依存関係があるので、依存パッケージもrpmでオンライン環境からダウンロードしておく。
4. iという名前でCentOSユーザを作成する。プログラムでファイルのパスに含まれる箇所があるため。

＜システムの構築＞

1. https://github.com/OASYS2204/FileSharingからファイルをダウンロード。
2. ユーザiのホームディレクトリ上にServerディレクトリを作成し、serverディレクトリをその中に配置する。
3. postgresqlのセットアップ。詳細は調べること。
4. postgresqlのDB作成。testという名前で作成する。以降はそのDB上でテーブル作成等を行う。
5. テーブル作成、データ挿入。ファイルはserver/sql/にある (ファイル関係はserver/sql/file/) 。順序は以下に記載の通り。
6. usersテーブルを作成し、user.pgsqlのデータ挿入。
7. filesテーブルを作成し、以下の順序でデータを挿入する。
8. file.sql
9. 教材.sql
10. 提出.sql
11. 講師.sql
12. 生徒1.sql
13. 生徒2.sql
14. HOME(lastin)
15. createsym.sqlのテーブル作成、4番までのデータを挿入。
16. cmdtable.pgsqlのテーブル作成、データ挿入。
17. executables.pgsqlのテーブル作成、データ挿入。
18. file\_types.sqlのテーブル作成、データ挿入。